

## 令和4年度事業の進捗状況報告

- 1 プロジェクトチームの進捗状況報告 別添1
- 2 障がい福祉関係者連絡会 別添2  
第1回(5月31日実施)「防災」をテーマに実施し41人参加。  
第2回(10月19日実施)「虐待防止」をテーマに実施し38人参加。
- 3 避難行動要支援者登録制度の見直しについて  
関係課(安心安全課、長寿課)等との協議を経て、避難行動要支援者登録申請書兼個別避難計画 別添3を作成。2月頃に新たな様式にて登録対象者に案内を送付する予定。  
令和4年9月号広報にて制度周知を行った。
- 4 福祉有償運送ドライバー認定講習について 別添4  
令和4年10月2日(日)に実施。市民5人が参加。
- 5 障がい者通所施設歯科健診事業  
8月から9月に4事業所の利用者26人が健診を受けた。
- 6 遠隔手話サービスの試験実施について  
手話を言語とする聴覚障がい者が、市役所に来庁することなく相談や問合せ等ができるよう、インターネット会議システムを活用し、自宅にて手話通訳者と話すことができる遠隔手話サービスを、令和5年1月から試験的に実施する。
- 7 地域福祉計画の策定状況について  
令和4年度から2カ年で策定する予定で、今年度は主に市民アンケートを実施する。なお、ながふく障がい者プランの「障がい者権利擁護支援計画」は、次期地域福祉計画に盛り込む予定。
- 8 障がい者差別事案・虐待対応事案について  
虐待対応事案 2件(終結済)
- 9 その他
  - (1) 障がいのある方及びその家族向けの勉強会 別添5

- ア 進路説明会（6月16日実施）  
「自分らしく働くってどういうこと？ ～将来の選択肢に必要なこと～」をテーマに実施し、31人参加。
- イ 事業所説明会（10月7日実施）  
「みんなどうしてる？～自分らしい自立（暮らし）って何だろう～」をテーマに実施し、15人参加。
- (2) 障害者週間及び人権週間関連事業  
テーマ「わたしって、テーマ「わたしの「ふつう」って、きみと違うの？」に沿った絵本27冊を集めた図書コーナーを中央図書館に設置。  
(11月23日～12月27日)
- (3) 要約筆記奉仕員養成講座（12月3日～2月18日 全6回）
- (4) まちづくり協議会及び共同生活援助事業所（グループホーム）が協働した避難訓練の実施（12月18日実施）
- (5) 手話体験講座（1月29日実施予定）

## 《写真》

|   |  |
|---|--|
|  |  |
| <p>第1回障がい福祉関係者連絡会</p>   | <p>第2回障がい福祉関係者連絡会</p>  |
|  |  |
| <p>要約筆記奉仕員養成講座（第1回）</p>   | <p>図書コーナー</p>  |

## 障がい者自立支援協議会プロジェクトチーム 進行管理シート

事務局

福祉課・子ども家庭課

|  |   |       |      |          |      |
|--|---|-------|------|----------|------|
| プロジェクトチーム名                               | 医療的ケアが必要な人への体制整備プロジェクトチーム   |       |      |          |      |
| 設置期間(予定)                                 | 令和4年度末まで  |       |      |          |      |
| 到達点                                      | 医療的ケアが必要な人(以下、「医療的ケア児者」という。)の生活状況を踏まえた支援量及び支援度を整理し、現状と課題をみえる化し、支援関係者間で共有する。また、継続的に医療的ケア児者を把握し、支援する仕組みづくりを行う。  |       |      |          |      |
| 内容                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児者またはその家族へのヒアリングを行い、生活状況や課題の深掘りを行った。</li> <li>・医療的ケア児者の支援関係者(保育園及び学校)へヒアリングを行い、支援体制やその課題について把握した。</li> <li>・アンケート及びヒアリングの結果を報告書としてまとめ、案を共有し意見交換を行った。</li> <li>・災害現場における障がい者の現状と課題に関する勉強会を行った。</li> </ul> |       |      |          |      |
|  | 活動実績  | 項目    | 実績数値 | 項目       | 実績数値 |
|  |   | 会議    | 2回   | ヒアリングの実施 | 8回   |
|  |   | のべ参加者 | 14人  |          |      |
|  | 勉強会   | 1回    |      |          |      |
| 進捗状況に対する評価<br>(スケジュール通り進んでいるか、その原因、影響など) | 年度末までの報告書のとりまとめに向け、概ね計画通りに進んでいる。  |       |      |          |      |
| 進捗状況における課題や解決策、今後の見通し                    | 年度末に向けてアンケート及びヒアリング等の結果を踏まえた報告書をとりまとめ、アンケート等にご協力いただいた方、支援関係者等を中心に周知する。  |       |      |          |      |

障がい者自立支援協議会プロジェクトチーム 進行管理シート

|     |     |
|-----|-----|
| 事務局 | 福祉課 |
|-----|-----|

|  |  |       |      |    |      |
|--|--|-------|------|----|------|
| プロジェクトチーム名                               | 相談支援体制整備プロジェクトチーム  |       |      |    |      |
| 設置期間(予定)                                 | 令和4年度末   |       |      |    |      |
| 到達点                                      | 本市の目指す相談支援体制の姿を明確にし、それに向けたロードマップを作成する。   |       |      |    |      |
| 内容                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の相談支援体制に係る現状と課題の共有と、計画の作成に向けて検討・整理すべきポイントを共有した。(参考資料参照)</li> <li>・各相談機関の役割分担の明確化のため、相談支援専門員の業務実態調査を行った。</li> <li>・本市の相談支援体制のあり方の検討にあたって、先進地である半田市へ視察に伺った。</li> </ul> |       |      |    |      |
|  | 活動実績   | 項目    | 実績数値 | 項目 | 実績数値 |
|  |  | 会議    | 3回   |    |      |
|  |  | のべ参加者 | 21人  |    |      |
|  |  | 視察研修  | 1回   |    |      |
| 進捗状況に対する評価<br>(スケジュール通り進んでいるか、その原因、影響など) | 相談支援体制の課題に対し、こういった切り口からアプローチすべきか、また目指す姿をどこに設定するか等計画の方針決定に時間を要し、スケジュールに若干遅れが生じている。  |       |      |    |      |
| 進捗状況における課題や解決策、今後の見通し                    | 外部アドバイザーの助言、相談支援専門員の意見等を踏まえ、3年間で達成すべき目標、そのための施策を検討し、計画書としてとりまとめる。  |       |      |    |      |

## 相談支援体制整備プロジェクトについて

### 1 本市の相談支援体制の現状と課題

障害福祉サービス・障害児通所支援の利用者増加に伴い、求めに応じた計画相談支援・障害児相談支援をすぐにできる体制になっておらず、やむを得ないセルフプランによる支給決定が増加している。

また、基幹相談支援センター、障害者相談支援事業、特定相談支援・障害児相談支援事業の役割分担が明確になっておらず、重層的な相談支援体制の整備が急務である。

\*セルフプラン：指定相談支援事業者によらない障害福祉サービスの利用計画案

計画相談及び障害児相談の推移

|               | H29 | H30  | H31  | R2   | R3   | R4見込み |
|---------------|-----|------|------|------|------|-------|
| 計画相談実人数       | 197 | 220  | 253  | 259  | 274  | 298   |
| 計画相談実人数前年度比   | -   | 112% | 115% | 102% | 106% | 109%  |
| 計画相談延べ件数      | 534 | 698  | 774  | 841  | 846  | 954   |
| 計画相談延べ件数前年度比  | -   | 131% | 111% | 109% | 101% | 113%  |
| 1人あたり平均年間利用件数 | 2.7 | 3.2  | 3.1  | 3.2  | 3.1  | 3.2   |
| 計画相談セルフプラン件数  | 0   | 0    | 0    | 1    | 2    | 26    |
| 障害児相談実人数      | 160 | 204  | 255  | 292  | 360  | 441   |
| 障害児相談実人数前年度比  | -   | 128% | 125% | 115% | 123% | 123%  |
| 障害児相談延べ件数     | 235 | 291  | 343  | 364  | 592  | 755   |
| 障害児相談延べ件数前年度比 | -   | 124% | 118% | 106% | 163% | 128%  |
| 1人あたり平均年間利用件数 | 1.5 | 1.4  | 1.3  | 1.2  | 1.6  | 1.7   |
| 障害児相談セルフプラン件数 | 0   | 1    | 3    | 15   | 15   | 118   |



(参考) 令和4年11月時点、計画相談・障害児相談の必要人員6.65人のところ、常勤換算3.5人となっている。

### 2 検討すべきこと

- ・相談支援専門員を増やす。
- ・相談支援専門員の担当件数を増やす。
- ・基幹相談支援センター、障害者相談支援事業、特定相談支援事業・障害児相談支援事業の役割分担を明確にする。

# 重層的な相談支援体制

## < 第3層 >

c. 地域における相談支援体制の整備や社会資源の開発など

- 総合的・専門的な相談の実施
- 地域の相談支援体制強化の取組
- 地域の相談事業者への専門的な指導助言、人材育成
- 地域の相談機関との連携強化
- 地域移行・地域定着の促進の取組
- 権利擁護・虐待の防止

主な担い手⇒基幹相談支援センター、地域(自立支援)協議会

## < 第2層 >

b. 一般的な相談支援

- 福祉サービスの利用援助（情報提供、相談等）
- 社会資源を活用するための支援（各種支援施策に関する助言・指導）
- 社会生活力を高めるための支援
- ピアカウンセリング
- 権利擁護のために必要な援助
- 専門機関の紹介

主な担い手⇒市町村相談支援事業

## < 第1層 >

a. 基本相談支援を基盤とした計画相談支援

- 基本相談支援
- 計画相談支援等
  - ・ サービス利用支援
  - ・ 継続サービス利用支援

主な担い手⇒指定特定相談支援事業

## 支給決定プロセスについて

サービス等利用計画については、平成27年度からは市町村が支給決定を行うに際し、全ての利用者を対象とする。

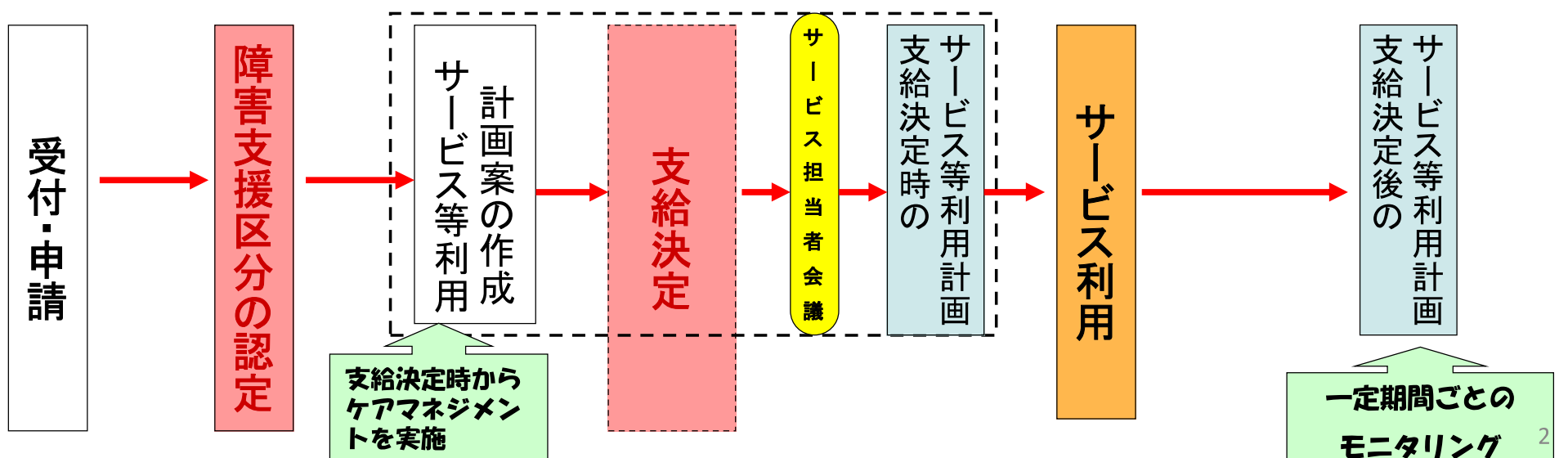
市町村は、必要と認められる場合として省令で定める場合には、指定を受けた特定相談支援事業者が作成するサービス等利用計画案の提出を求め、これを勧案して支給決定を行う。

- \* 上記の計画案に代えて、指定特定相談支援事業者以外の者が作成する計画案(セルフプラン)を提出可。
- \* サービス等利用計画作成対象者を拡大する。

支給決定時のサービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)について、計画相談支援給付費を支給する。

障害児についても、新たに児童福祉法に基づき、市町村が指定する指定障害児相談支援事業者が、通所サービスの利用に係る障害児支援利用計画(障害者のサービス等利用計画に相当)を作成する。

- \* 障害児の居宅介護等の居宅サービスについては、障害者自立支援法に基づき、「指定特定相談支援事業者」がサービス等利用計画を作成。(障害児に係る計画は、同一事業者が一体的(通所・居宅)に作成)



## 障がい者自立支援協議会プロジェクトチーム 進行管理シート

事務局

障がい者基幹相談支援センター

|  |  |       |      |     |      |
|--|--|-------|------|-----|------|
| プロジェクトチーム名                               | 地域生活支援拠点整備プロジェクトチーム  |       |      |     |      |
| 設置期間(予定)                                 | 令和4年度末   |       |      |     |      |
| 到達点                                      | (1) 地域生活支援拠点について、関係者の理解が深まる。<br>(2) 地域生活支援拠点機能を担う事業所がネットワーク化し、着実な運営及び各機能強化を進める。<br>(3) 地域生活支援拠点整備の協議を、先に検討予定の精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム構築の議論につなげていく。 |       |      |     |      |
| 内容                                       | ・本市における地域生活支援拠点等の整備状況について、令和3年度時点の評価を行った。<br>・評価を基に市内の事業所向けに説明会を実施(9月27日)した。   |       |      |     |      |
|  | 活動実績   | 項目    | 実績数値 | 項目  | 実績数値 |
|  |  | 会議    | 2回   | 説明会 | 1回   |
|  |  | のべ参加者 | 8人   | 参加者 | 14人  |
| 進捗状況に対する評価<br>(スケジュール通り進んでいるか、その原因、影響など) | 予定どおりに進捗している。  |       |      |     |      |
| 進捗状況における課題や解決策、今後の見通し                    | 各機能を担うことができる事業所が整理されたため、今後は、機能ごとに関係者を招集し、運営マニュアル等の整備を行う。併せて、緊急時の居室確保事業についても検討を進める。   |       |      |     |      |

## 障がい者自立支援協議会プロジェクトチーム 進行管理シート

|     |                       |
|-----|-----------------------|
| 事務局 | 障がい者基幹相談支援センター・子ども家庭課 |
|-----|-----------------------|

|  |  |       |      |    |      |
|--|--|-------|------|----|------|
| プロジェクトチーム名                               | 療育支援体制整備プロジェクトチーム  |       |      |    |      |
| 設置期間(予定)                                 | 令和4年度末   |       |      |    |      |
| 到達点                                      | こどもに関わる各関係機関が連携し、こどもの発達相談室を中心とした、途切れない支援体制の構築(療育支援体制整備)及びこどもに関わる関係機関で構成される協議体の設置準備に取り組む。   |       |      |    |      |
| 内容                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターで実施している、1歳6か月児健診、3歳児健診の案内書類の中に、こどもの発達相談室のリーフレットを同封することとした。</li> <li>・医療的ケア児に関して「長久手市医療的ケア児等ケース会議設置要綱」を制定し、定期的に関係者が集まり、情報共有、支援方針の検討を行う体制を整備した。</li> <li>・「長久手市療育支援個別ケース等協議会設置要綱」を制定し、2つの連絡会(乳幼児連絡会、学童・青年期連絡会)を設け、本市児童に関する個別ケースの報告、情報共有、支援方法の検討、地域課題の把握等を行う体制を整備した。</li> </ul> |       |      |    |      |
|  | 活動実績   | 項目    | 実績数値 | 項目 | 実績数値 |
|  |  | 会議    | 4回   |    |      |
|  |  | のべ参加者 | 34人  |    |      |
| 進捗状況に対する評価<br>(スケジュール通り進んでいるか、その原因、影響など) | 概ね計画通りに進捗しているが、関係部署との調整や検討事項の追加により、当初予定していた計画を一部修正する必要がある。   |       |      |    |      |
| 進捗状況における課題や解決策、今後の見通し                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「長久手市医療的ケア児等ケース会議設置要綱」「長久手市療育支援個別ケース等協議会設置要綱」に基づいて会議を開催し、本プロジェクトチームにて適宜見直しを行っていく。</li> <li>・義務教育を終了する対象者への「こどもの発達相談室」の具体的な案内方法、役割について検討する必要がある。</li> </ul>   |       |      |    |      |



当日の実績 (令和4年5月31日)

- 10:00 はじめに
- 10:05 自立支援協議会  
プロジェクトチームの進捗状況 報告
- 10:15 話題提供~事業所における防災の取り組みについて~
- 10:25 グループワーク説明 移動
- 10:35 グループワーク “テーマに沿って意見交換会”  
今回のテーマは “防災” について
- 11:30 まとめ
- 11:35 連絡事項
- 11:50 終了

いろいろとご協力、  
ありがとうございました。



| 参加状況         |      |     |
|--------------|------|-----|
| 参加事業所        | 20か所 |     |
| 参加者数         | 41名  |     |
| 内訳<br>(兼務あり) | 児発   | 6名  |
|              | 放デイ  | 15名 |
|              | 生活介護 | 4名  |
|              | 就労B型 | 4名  |
|              | 就労A型 | 1名  |
|              | 就労移行 | 1名  |
|              | GH   | 4名  |
|              | 居宅   | 1名  |
|              | その他  | 1名  |
| 市職員          |      | 6名  |
| 相談センター       |      | 7名  |

ワークのまとめ

福祉事業所でできること

② まず自分たちで!

- 全員は歩いて避難所まで行っている。
- ② 避難訓練 実施済み
- 事業所外へ 避難所 確保済み

② みんなでやればできる!

- 消火器の使い方
- AEDの使い方
- 避難所での 避難訓練
- 近隣が中心の 避難所の確保
- BCP 作成

③ 災害への意識向上

- 全職員で 避難所まで 避難訓練
- ③ BCP作成 有事の際の 行動に於て 苦手の説明
- 普段から 意識向上

地域でできること

② 顔見の見える関係

③ 設備・備品 確保

- ① 避難所での 避難訓練 実施済み
- 保管場所 確保済み (備蓄)
- ① 避難所

② 設備・備品の確保

- ② 非常食がない
- ② 簡易ベッド テントの 数

③ 支援者の確保

② 実態把握

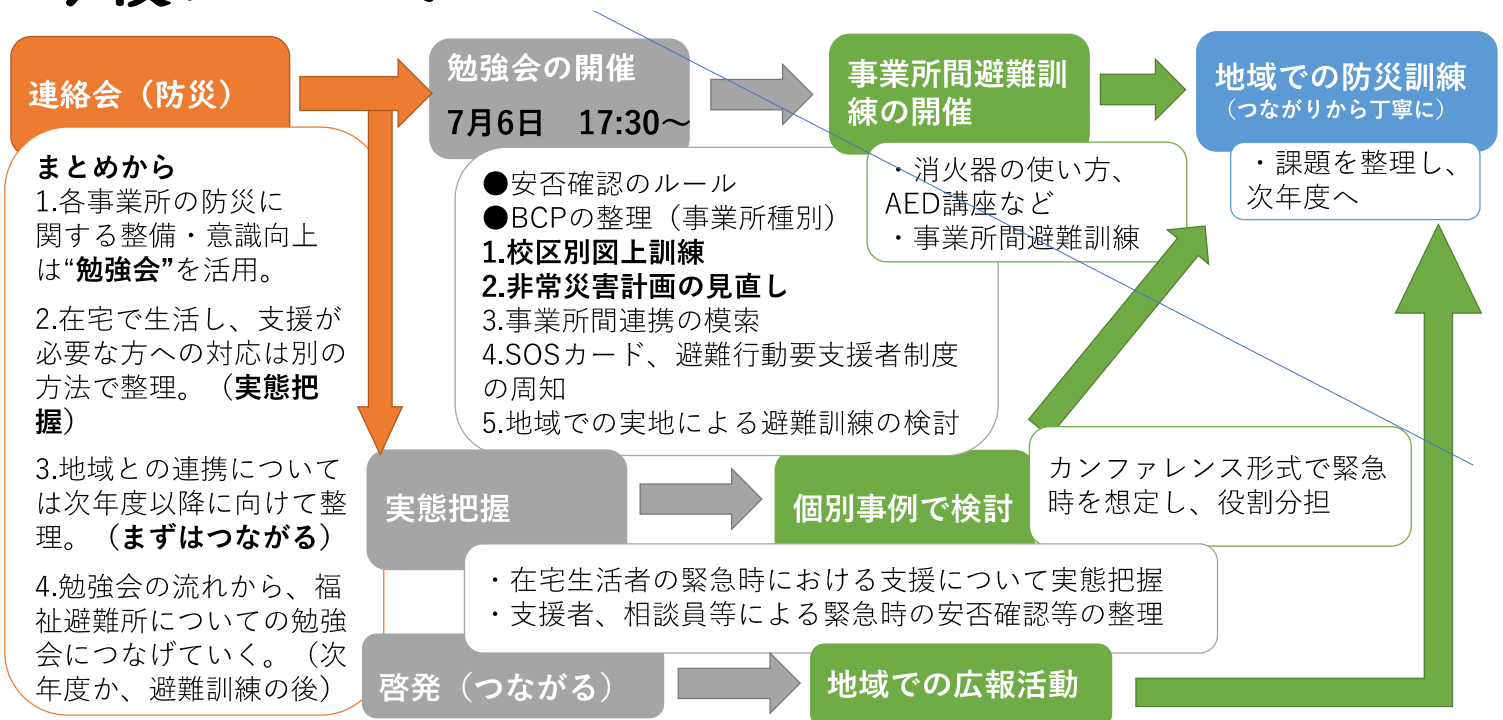
- ② 在宅の人 への支援
- 在宅の人の 実態把握
- 在宅の人の 実態把握の方法
- ② 在宅の人の 実態把握の方法
- ② 在宅の人の 実態把握の方法

## アンケートより抜粋

### 「防災について所属する事業所及び地域で今後取り組みそうなことや気づき、意見、要望等」

- なかなか1事業所では取り組めないこともあるので、訓練を含め実施できるといいなと思いました。
- 利用者さん数十人がにげた時どう支援側が動くのか、動かない場合はどうするのか。そのような話し合いができるとう嬉しいです。
- 地域住民の拠り所となる可能性もある福祉事務所。頼られる存在でありながらも地域を頼る姿勢を見せることによって、共存していけるのであろう。次回の会議にも期待したい。
- 事業所で協力したいことがたくさんできた。施設間で交流できる場をこれからも作ってもらえると助かる。積極的にこれからもコミュニケーションをとっていきたい。

## 今後について



## 第2回 障がい福祉関係者連絡会

## 振り返り資料

### 当日の実績（令和4年10月19日）

- 10:00 はじめに（座学） 虐待について  
グループワーク説明
- 10:10 グループワーク 虐待につながるヒヤリについて
- 10:50 **話題提供** ～施設内虐待の理解と対応について～  
名古屋キンダーホルト 理事長 岩田正人氏
- 11:40 **まとめ**
- 12:00 連絡事項
- 12:10 終了

いろいろとご協力、  
ありがとうございました。

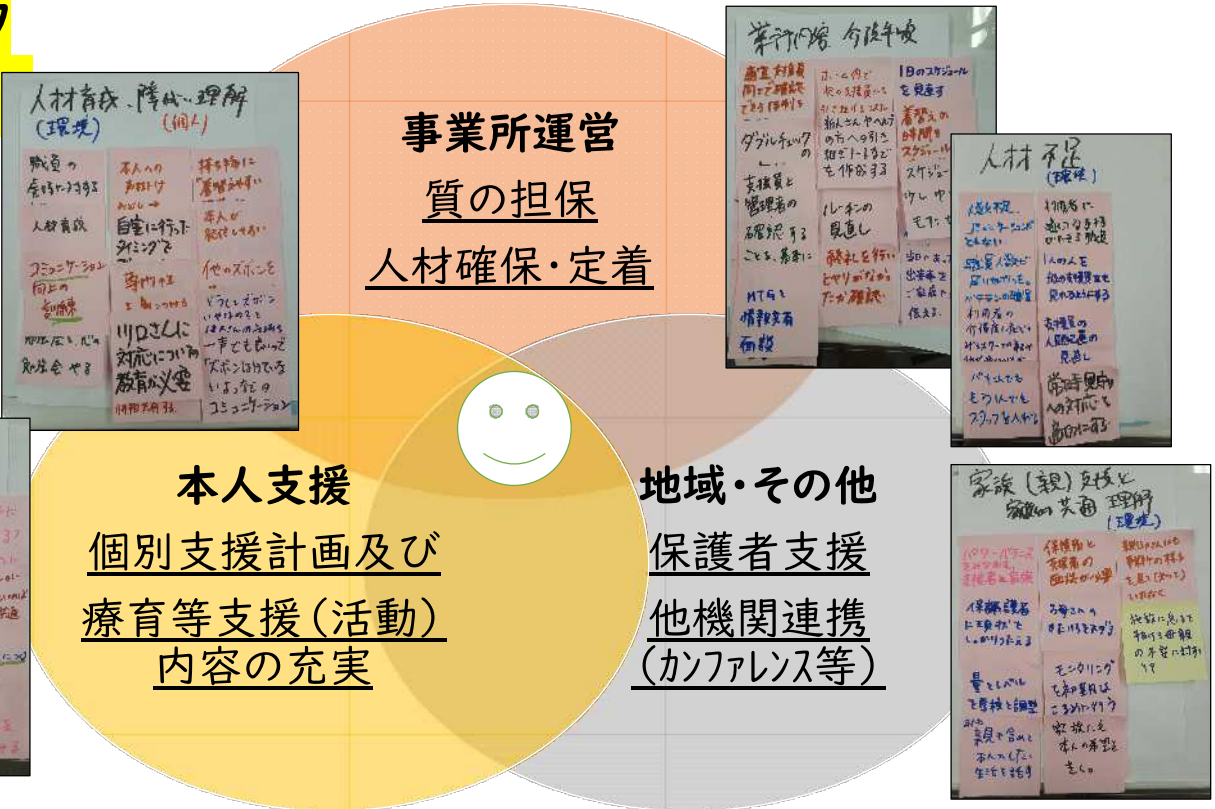


| 参加状況            |      |            |
|-----------------|------|------------|
| 参加事業所           | 14か所 |            |
| 参加者数            | 38名  |            |
| 内訳<br>(兼務あり)    | 児発   | 1名         |
|                 | 放デイ  | 21名        |
|                 | 生活介護 | 0名         |
|                 | 就労B型 | 2名         |
|                 | 就労A型 | 0名         |
|                 | 就労移行 | 1名         |
|                 | GH   | 3名         |
| 居宅              | 1名   |            |
| 市職員             |      | 2名         |
| 相談センター<br>(実習生) |      | 5名<br>(2名) |

### アンケートより抜粋「感想、気づき、意見、要望等」

- 自分たちの施設の現在地を知ることができました。貴重な機会をいただきありがとうございました。さらにより良い施設になるよう今日学んだことも生かして改善していきたいと思います。
- ミーティングで個々の意見を拾うのはとても難しく、それぞれの考えを受け止めるのに日々頭を抱えています。いかに現場の声を拾えるか、ヘルパーさんへ寄り添えるか、現場を知ることなど課題は山盛りですが、研修を受けて学んだことを生かしていきたいです。
- 一人の職員が問題を抱えこまないように、職員間でできる環境作りが大切だと思いました。
- 小さなストレス、イライラなど発端でセーブする。ストレスにならない距離感や体制なんかも共有した働き方も考えていきたいです。
- 日常の積み重ねが大切な事を改めて意識できました。

# グループワーク まとめ



事業所運営

質の担保

人材確保・定着

本人支援

個別支援計画及び  
療育等支援(活動)  
内容の充実

地域・その他

保護者支援  
他機関連携  
(カンファレンス等)

## まとめから求められること

事業所運営

質の担保

人材確保・定着

本人支援

個別支援計画及び  
療育等支援(活動)  
内容の充実

本人向け研修

- ・個別支援計画研修
- ・サービス担当者会議

地域の社会資源の創出

地域・その他

保護者支援

他機関連携  
(カンファレンス等)

家族向け勉強会の実施

- ・障がい理解と将来の見通し(就労、暮らし)
- ・当事者会(啓発活動)

支援者向け研修の実施

- ・基礎研修(障がい理解)
  - ・強度行動障害者研修等応用研修
- 管理者向け研修等意見交換会の実施
- ・制度の理解
  - ・虐待防止・権利擁護研修等

## みまもり台帳 申請書

(避難行動支援者登録(変更)申請書・個別避難計画)

## 同意書

私は、次の事項を確認し、避難行動要支援者名簿への登録及び個別避難計画を作成に同意します。また、災害時の安否確認、避難誘導及び災害時に備えた平常時の見守り活動等ため、私に関する個人情報について、避難支援等関係者に提供することに同意します。

- 避難を支援する人(様式中の5に記載する人)や避難支援等関係者(民生委員・児童委員、市社会福祉協議会、地域団体等)は、自身の安全が前提であるため、名簿等の登録により、災害時の避難支援等が必ずされることを保証するものではなく、避難支援者等は法的な責任や義務を負うものではありません。
- 避難を支援する人に、本書に記載することについて同意を得ています。

令和 年 月 日 申請者

保護者又は  
代理人氏名

以下に当てはまる場合は、□に✓してください。身近な地域への情報提供を行わないことによって、災害時や緊急時の支援が円滑になされない場合があります。

- 私は、避難支援等関係者の内、「自主防災組織」及び「まちづくり協議会・自治会連合会・区・区会」への提供は希望しません。

## 1 対象者

|                      |  |   |   |   |
|----------------------|--|---|---|---|
| ふりがな                 |  | 性別  | 血液型   | 生年月日  |
| 氏名                   |  | <input type="checkbox"/> 男<br><input type="checkbox"/> 女    | <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B<br><input type="checkbox"/> O <input type="checkbox"/> AB | <input type="checkbox"/> 明 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 昭 <input type="checkbox"/> 平 <input type="checkbox"/> 令<br>年 月 日 |
| 住所                   | 〒 - -  |   |   |   |
|                      | 電話番号 - -   | (FAX <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) | 携帯電話 - -  |   |
| 該当区分                 | <input type="checkbox"/> ひとり暮らし高齢者 <input type="checkbox"/> 後期高齢者世帯 <input type="checkbox"/> 障がい児者 <input type="checkbox"/> その他( ) |   |   |   |
| 障害者手帳                | <input type="checkbox"/> 身障【 種 級】 <input type="checkbox"/> 知的【 判定】 <input type="checkbox"/> 精神【 級】 <input type="checkbox"/> 申請中    |   |   |   |
| 介護認定                 | <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 要支援( ) <input type="checkbox"/> 要介護( ) <input type="checkbox"/> 申請中          |   |   |   |
| 通っている<br>福祉事業所       |  | よく利用する<br>短期入所事業所   |   |   |
| 担当ケアマネジャー<br>相談支援専門員 |  | 担当民生委員  |   |   |

## 2 現在治療中の病気

無し 有り(主な病名: かかりつけ医の病院名: )

## 3 避難場所

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 避難場所① | 避難場所② | 避難場所③ |
|       |       |       |

#### 4 緊急連絡先・家族等の状況

|           |   |  |
|-----------|---|--|
| ①氏名       | 続柄  | 住所   |
|           |   | 電話番号   |
| ②氏名       | 続柄  | 住所   |
|           |   | 電話番号   |
| 世帯構成      | <input type="checkbox"/> 高齢者のみ <input type="checkbox"/> 障がい者のみ <input type="checkbox"/> 日中はひとりになる <input type="checkbox"/> 親族と同居<br><input type="checkbox"/> 高齢者と障がい者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 高齢者と障がい者のみの世帯 <input type="checkbox"/> 乳幼児のいる世帯 |  |
| 家族等との交流頻度 | <input type="checkbox"/> 週1回 <input type="checkbox"/> 週2、3回 <input type="checkbox"/> 毎日 (続柄 )   | 外出頻度 <input type="checkbox"/> 週1回 <input type="checkbox"/> 週2、3回 <input type="checkbox"/> 毎日 |

#### 5 避難を支援する人（身近な近所、地域で助けを借りられる人）

|  |    |      |
|--|----|------|
| <input type="checkbox"/> 緊急連絡先と同じ（以下の連絡先は記載不要） |    |      |
| ①氏名  | 続柄 | 住所   |
|  |    | 電話番号 |
| ②氏名  | 続柄 | 住所   |
|  |    | 電話番号 |
| <input type="checkbox"/> 身近な支援者がいない            |    |      |

#### 6 避難支援区分

|   |
|---|
| <input type="checkbox"/> <b>A 自分で歩くことが難しい</b><br>(例) 車いすでの移動が必要な方                     |
| <input type="checkbox"/> <b>B 歩くことはできるが、少し不安がある</b><br>(例) 歩くのに杖が必要な方、長く歩くことが難しい方     |
| <input type="checkbox"/> <b>C 歩くことはできるが、声かけや誘導が必要</b><br>(例) 知的障害のため情報入手や避難の判断に不安がある方 |
| <input type="checkbox"/> <b>D 現状、不安はない</b><br>(例) 同居の親族と一緒に避難ができる方、現状では心身に不安がない方      |

#### 7 配慮が必要なこと・支援者に伝えたいこと

|  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 自力での移動が難しい（ <input type="checkbox"/> 車いす使用） | <input type="checkbox"/> 言葉（もしくは日本語）を理解することが難しい   |
| <input type="checkbox"/> 目が見えない（見えにくい）                               |   |
| <input type="checkbox"/> 音が聞こえない（聞き取りにくい）                            | <input type="checkbox"/> 避難所等で集団の中で生活することが難しい     |
| <input type="checkbox"/> 危険を察知することが難しい                               |   |
| <input type="checkbox"/> 災害時でも、可能な限り自宅で過ごすつもり（在宅避難）                  | <input type="checkbox"/> 障がいや病気のために特殊な機械や物品、薬品が必要 |
| 特記事項   |   |

#### 8 避難経路に関する事、その他避難支援時の留意事項

|  |
|--|
|  |
|--|

## 令和4年度福祉有償運送ドライバー認定講習会

## 開催結果概要

- 1 開催日時  
令和4年10月2日（日）午前8時10分から午後6時20分まで
- 2 場所  
＜座学＞ 日進市役所  
4階 第2・3会議室  
＜演習＞ 日進市役所 駐車場
- 3 修了者  
9名(内長久手市5名、日進市4名)
- 4 参加費用  
1,500円（教材費）
- 5 アンケート結果等  
別紙のとおり
- 6 その他  
日進市と合同で開催。
- 7 当日の様子







|     |                |
|-----|----------------|
| 日時  | 令和4年10月2日（日）   |
| 参加者 | 9名（日進4名 長久手5名） |

アンケート

| 1 講習会について | 満足 | 普通 | 不満足 |
|-----------|----|----|-----|
|           | 8  | 1  | 0   |

・勉強になりました。  
 ・介護者側の立場も体験ができてとても良かったです。  
 ・一日で移動のことだけでなく車イス等の講習もあったから。  
 ・福祉について知識が少ないので、もう少し時間を割り振って欲しい。

| 2 講師について | 満足 | 普通 | 不満足 |
|----------|----|----|-----|
|          | 9  | 0  | 0   |

・熱心に細かい所まで教えてくださいました。ありがとうございました。  
 ・楽しくお話を聞く事ができました。  
 ・とてもわかりやすくて良かったです。  
 ・熱心だった。  
 ・丁寧な説明で分かりやすかった。

| 3 内容について  |       | 分かりやすかった  |             | 普通           | 難しかった |
|-----------|-------|-----------|-------------|--------------|-------|
| (1)分かりやすさ |       | 9         |             | 0            | 0     |
|           |       |           |             |              |       |
| (2)理解度    | 理解できた | だいたい理解できた | あまり理解できなかった | まったく理解できなかった |       |
|           | 3     | 6         | 0           | 0            |       |

| 4 参加動機について   |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場からの依頼です。</li> <li>・介護施設で勧められた。</li> <li>・もともと興味があり、広報で見つけ参加させて頂きました。</li> <li>・実務で必要だった為。</li> <li>・知人に誘っていただきました。</li> <li>・今後、何らかの形で携わる事ができればと思いました。</li> <li>・地域で住民主体の移動支援をするため。</li> <li>・地域のお出かけ支援のドライバーに登録するにあたり、勉強したかった。</li> <li>・福祉有償運送ドライバーに興味があったから。</li> </ul> |

|           |    |        |    |
|-----------|----|--------|----|
| 5 参加費について | 安い | ちょうどいい | 高い |
|           | 3  | 6      | 0  |

|              |       |           |
|--------------|-------|-----------|
| 6 スケジュールについて | 1日でよい | 2日に分けてほしい |
|              | 7     | 2         |

|             |             |             |              |             |     |
|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-----|
| 7 今後の活動について | ぜひ活動<br>したい | 活動して<br>もよい | もう少し<br>考えたい | 活動した<br>くない | 無回答 |
|             | 1           | 4           | 2            | 1           | 1   |

9 「もう少し考えたい」「活動したくない」理由について

- ・身障者・知的障害者さんを乗せる責任の重圧を感じた。
- ・現在、社業の方も忙しく、こちらがもう少し落ち着いたら活動したく考えています。
- ・まだまだ知識不足で、改めて人の命を預かる責任の重さを感じました。

10 今後の講習会について（良かった点、直した方がよい点など）

- ・1年に1回の講習会だと、参加したくてもできない人も多くいると思うので、もう少し回数を増やすと受講者も増え活動できる方が多くなると思いました。
- ・福祉有償運送についてしっかりと学べたと思います。ありがとうございました。
- ・講師の方の所属先をお聞かせ下さい。（自己紹介）
- ・最初に講師の紹介があると良い。市の職員もおられた。紹介があると良い。参加者の自己紹介もあればもっと良い。（名前のみで可）
- ・福祉に関わっていない人もいるので、福祉の方法や行動について、説明と動作実習の反復練習の時間を増やして欲しい。
- ・時間的な問題もあったと思いますが、車いすと車両に乗せてリフトアップする実技もあれば良かったと思います。ワイヤーロープの実技など。
- ・資料を事前にもらえたら予習できると思います。

ながさき  
 未来の選択に必要なこと  
 2022年  
 6/16(木)  
 会場（福祉の家/雑合棟）  
 13:30~16:00（開始13:00）  
 参加費無料

**Group1**  
『社会で働くために必要なこと』

株式会社日立製作所 特例子会社  
 業務内容： 昇降装置受託 設備 小笠原 隆夫  
 部長 藤根 浩氏

尾張栄田 障がい者就業生活支援センターアクト  
 就業支援 F 代表 有田 幸彦氏

**Group3**  
『自分らしく働くということ』

社会福祉法人あいち福祉社会  
 たか製作業所（就労継続支援B型）  
 係長 吉村 慎吾氏  
 サービス課主任 川原 良直氏

社会福祉法人むさそう  
 がわせみ工房（生活介護）  
 サービス係主任 林 夏海氏

**Group2**  
『就労移行支援と就労継続支援A型って？』

株式会社 FORZA  
 あるく長久手アクト（就労移行支援）  
 サービス管理責任者 寺原 宏昌氏

NPO 法人 実学  
 ジョブ長久手（就労継続支援A型）  
 サービス管理責任者 大橋 優真氏

**Group4**  
『進路選択の考え方について』

一般社団法人あいち子ども包括支援協会  
 チャイルドサポート森のまろ（生活介護 F 付）  
 児童発達支援従事者 遠藤 浩亮氏

名古屋市立南豊橋学校  
 進路指導主事 榎野 正和氏

長久手市役所教育総務課  
 課長 児島 啓子氏

☑ 一般就労・障害者雇用で働くためには何が必要？  
 ☑ 就労支援って何？どんな人が利用するの…？  
 ☑ 就労継続支援B型と生活介護…どちらが本人にあってる？  
 ☑ いつから進路選択について考えればいい？

**対象者**  
 市内在住の小5～高校生（障がい者手帳所持又は放課後等サービス等の福祉サービスを利用している方）又はその保護者、今回のテーマに興味のある方など。（※定員 60 名程度）

**申込方法**  
 事前の申し込みが必要です。申込受付は5月17日（水）から開始します。電話又はメールにてお問い合わせください。  
 お申し込みの際は、名前・連絡先・参加を希望するグループテーマ（①～④の中から選択）をお伝えください。FAXで申し込みをされる場合は裏面の申込用紙をご活用ください。

**お問合せ**  
 長久手市障がい者基幹相談支援センター  
 TEL：0561-64-2333 FAX：0561-64-2337  
 E-mail：nagakute-shakyo-shosai@hm.aitaine.jp  
 営業日：火曜日～日曜日（9時～17時）  
 休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌営業日）

裏面に申込用紙あります →

**【日時】**

令和4年6月16日（木）13時30分～16時00分

**【場所】**

集会室（メイン会場）、会議室、Nジヨイ

**【テーマ】**

『自分らしく働くってどういうこと？』  
 ～将来の選択肢に必要なこと～

**【対象者】**

福祉サービスを利用する小学5年生から高校3年生及びその保護者

**【参加人数】**

49名（関係者含む） 31名（講師・事務局除く）

グループ① 7名 グループ② 6名

グループ③ 8名 グループ④ 10名

**グループごとの話合いについて**

非常に理解できた 16名 理解できた 10名 どちらともいえない 1名  
 もう少し話をききたい 1名

**コメント（※一部抜粋）**

- ・非常に参考になる会で参加してよかったです。具体的に子どもへのアドバイスになることもありました。
- ・特例子会社の方のお話が聞けて良かったです。アクト（就業・生活支援センター）という相談窓口があることに心強く感じます。
- ・就労移行支援、就労継続支援A型で実際にどのようなことを行っているかなど、細かなことが聞けたのでとても良い勉強になりました。
- ・就労継続支援A型事業所の就労内容や給与等を詳しく知ることができてよかったです。
- ・同じ就労継続支援B型、生活介護でも事業所によって違う部分があるということを知りました。
- ・障がいを持つ子の働く場、生活の場で社会人としての役割と本人に合ったスタイルで決めていくことの難しさを痛感しているところです。本日のような場を設けてくださり、ありがとうございます。
- ・「生活介護、就労継続支援B型、というくりに縛られずに考える」と、何度もおっしゃっていたのが印象的でした。
- ・理解できたことと、わからないことが半々。学校の名前、種類が色々あって理解するのに時間がかかる。
- ・進路について、ほとんど無知で基本的な知識もないので、少し難しかったです。
- ・学校から社会へという時の進路だけでなく、小→中→高→その他の選択についての話も聞くことができました

勉強会のご案内

# みんなどうしてる？

～自分らしい自立くらしってなんだろう～

10年後、30年後、50年後、弱なき後… あなたはどんな生活を送っていますか？

2022年 10/7 (金) 13:30~16:00 (受付: 13:00~)

参加無料 (事前予約必要) 会場 (福祉の家/集会室)

食事、洗濯、入浴、掃除、買い物は？ 生活リズムは？ 仕事の取り扱いは？ お金の管理は？ 必要な書類の管理や手続は？ 社会のルールやマナーは守れる？ トリプルに巻き込まれたらどうする？

市内には学校卒業後、支援を活用して自分の望む生活を実現している方がたくさんいます。そんな方々の事例を通じて将来(自立生活)について一緒に考えてみませんか？

**テーマ**

- ① 一般就労している方の暮らし
- ② 福祉サービス(就労継続支援A型・B型/グループホーム)を利用している方の暮らし
- ③ 福祉サービス(生活介護/グループホーム・施設入所支援)を利用している方の暮らし

**対象者**

市内在住の小5~高校生(障がい者手帳所持又は放課後等デイサービス等の福祉サービスを利用している方)又はその保護者、今回のテーマに興味のある方など。(※定員30名程度)

**申込方法**

事前の申し込みが必要です。申込受付は9月6日(水)から開始します。FAX又はメールにてお問い合わせください。お申し込みの際は、名前・連絡先・参加を希望するテーマ(①②③の中から選択)をお伝えください。FAXで申し込みをされる場合は裏面の申込用紙をご活用ください。

相談支援専門員やグループホーム等の施設の方から、日々支援している方の暮らしについてお話させていただきます。ご興味のある方はぜひご参加ください。

**お問合せ**

長久手市障がい者基幹相談支援センター  
TEL: 0561-64-2333 FAX: 0561-64-2337  
E-mail: nagakute-shakyo-sho-gai@mm.aitainet.ne.jp  
営業日: 火曜日~日曜日(9時~17時)  
休休日: 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌営業日)

裏面に申込用紙ありませう

【日時】

令和4年10月7日(金) 13時30分~16時00分

【場所】

集会室(メイン会場)、機能回復訓練室  
Nジョイ、会議室

【テーマ】

みんなどうしてる?~自分らしい自立(くらし)って何だろう~

【対象者】

福祉サービスを利用する小学5年生から高校3年生及びその保護者

【参加人数】

26名(関係者含む) 15名(講師・事務局除く)

グループ① 3名 グループ② 6名  
グループ③ 6名

テーマごとの話合いについて

非常に理解できた 9名 理解できた 3名 もう少し話をききたい 1名

気づき、感想、参考になったことなどを教えてください。(※一部抜粋)

- ・ グレーゾーンとなっている人などについても、相談など何か支援があるのか気になった。
- ・ 自立のに向けた生活の様子、課題、喜び等 普段の知りえないことを知ることができ、大変ありがたかったです。ポジティブな選択を目指す気持ちにさせてもらえました。
- ・ 就労継続支援A型とB型の違いや、具体的な例を知ることができて参考になりました。本人のこれから先に必要になるだろうと思われることについて、見通しが立てられた。
- ・ 長久手にはホームも施設も少ないなと感じました。
- ・ 今までグループホームに早めに(若いうち)に入所した方がなじむのに時間がかからないので良い、とテレビや社会的な流れで言われて焦っていましたが、の話を聞いて(そうでもないかな)とちょっと思い安心しました。グループホームの良さ、入所施設の良さ、それぞれわかりました。
- ・ 「ショートステイで施設生活を練習しておく」と良い。」参考になりました。モヤモヤしていた将来の不安がありましたが、今後の課題が少し具体的になったように思います。
- ・ 意外と同じような悩み、問題を抱えている人がいて、我が家だけのことではないことに安心しました。「これ!」と言える解決方法はなくても、一緒に少しずつ対応してくださる人がいることを心強く思いました。ありがとうございました。